

# 深みと逞しさを全方位に際立たせる オンリーワンの足元の構築

ベース車両が人気モデルであるほど、スタイリング追求の中で悩まされるのは「定番感からの脱却」だろう。人とかぶらないパーツチョイスだけでは越えることのできない領域まで行き着けば、理想を実現するワンオフスタイルへ自然と取り組むことになっていく。

今回ここで紹介するK.R.CジャパンのエボVIIも、試行錯誤を重ねた中でワンオフによるワイド&ロースタイル追求を図った一台だ。スピード感が高まるアッパーアンダースポイラーやリヤディフューザー、グラマラスさを際立つリヤフェンダーをワンオフ製作で実現し、独創的なトラックスタンスへと仕上げてきた。

さて、そんな圧倒的な存在感を引き出したワンオフのレーシースタイルに対してドンピシャのパートナーとなるのが、力強い6本スポークで逞しさ放つマイスターL1・3ピースだ。

というのも、フロント35mm、リヤ100mmワイドでFRスポーツのような緩急を引き出した足元では、ホイールへ正対したディスクデザインの力強さやリムの深み、ミリ単位で煮詰められるオーダーインセットだけでなく、鋭角なアングルから眺めた際の佇まいまでも要求されて、ホイールチョイスは非常に難しい。

しかし、手前に引き出して緩やかにコンケープさせたディスクとディープリムが絶妙にコンビネーションさせられるマ

イスターL1なら、ワイドボディゆえにリムばかりが際立ってしまうようなアングルであっても深みと逞しさ際立つ足元が構築できる。こだわりのマッチングはもちろんのこと、全方位にレーシーな存在感をしっかりと打ち出せるというワケだ。

また、ボディとの一体感を引き出すという部分で見逃せないのは、カスタムバリエーション豊富なマイスターシリーズの特徴がフル活用されたカラーアレンジだろう。艶のあるカーボンでレーシーさを引き立たせた漆黒ボディに対し、足元は落ち着いたマットカーボンディスクと重厚感を添えるブロンズアルマイトリムで質感をコントロール。最大の見せ場となる足元に視線を惹き寄せつつ、スタイリング全体が映えるように仕上げている。

ワンオフで細やかな造形美を与えたスタイリングを邪魔することなく、質実剛健な足もとから圧巻オーラを醸し出すマイスターL1。こだわり抜いた一台のフィニッシュにこそふさわしい、まさに至高の一本だ。

INCH	SIZE	PRICE (without tax)
18	7.0J~16.0J	¥76,000~¥94,000
19	8.0J~16.0J	¥88,000~¥104,000

- ※オーダーインセット
- ※ディスクタイプ：スタンダード(Aディスク)、ディープリム(Oディスク)、ビッグキャリバー(Lディスク、Rディスク、Tディスク)
- ※ディスクカラー：マットシルバー(MSL)、マットカーボン(MGM)
- ※セミオーダーカラー：同価格
- ※カスタムオーダープラン：リムアレンジ/セミオーダーカラー
- ※特殊P.C.D.対応：同価格
- ※付属品：エアバルブ、ディスクステッカー、リムステッカー
- ※センターキャップはオプションです。

フロントは35mmワイドの海外製フェンダーに10Jx18+14、リヤは100mmワイドのワンオフフェンダーに12Jx18-37のマイスターL1をマッチング。最深部の接合箇所からディスクは一段手前へと引き出されているため、力強いディスクデザインと深みあるリムの両方がアングル問わずにアピールできる。



THE RECOMMEND WHEEL

## WORK MEISTER L1 3PIECE

ワーク ☎06-6746-2859 <https://www.work-wheels.co.jp>

PHOTO: 清水良太郎 REPORT: 村田純也



ボディとのカラーバランスも考えてブロンズアルマイトにカラーアレンジされたノーマルリムは、落ち着いた深みが楽しめる。トラックスタンスということも引張らずにマッチングしたタイヤとの相性もバツグンな大人の運しだ。

ディスク面を手前に引き出して緩やかなコンケイブを描き、リムだけでなくディスクでも深みを強調。突き詰めたワイドボディの足元の魅せ方で引張らずにマッチングしたタイヤとの相性もバツグンな大人の運しだ。

正面から見た際の太さだけでなく、サイド部分の厚みまで含めて力強さを引き出してきた6本スポーク。ボリュームあるワンオフフェンダーにも迫力負けすることのない足元の逞しさが十分に堪能できる。

